

50th Anniversary 公開講座

伝えたい！時代の挑戦者たちのメッセージ

入場
admission free
無料

JR 岐阜駅前 多目的講義室

岐阜大学 サテライトキャンパス
岐阜市吉野町 6 丁目 31 番地 岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階
アクセス http://www1.gifu-u.ac.jp/~gifu_sc/src/access.html

5DAYS

主催：岐阜工業高等専門学校同窓会「若鮎会」
協賛：岐阜工業高等専門学校

2018

2/24
(Sat.)

聞こえなくても大丈夫

～日本初！日本手話で学べるろう学校
「明晴学園」設立と高校での情報保障～



13:00 ▶ 15:00

玉田 雅己

NPO 法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター 代表理事

日本のろう学校では、昭和 8 年から話者の口形を読み取り音声による会話ができるように指導する「聴覚口話法」による教育が行われています。次男が「聞こえない」とわかって、聴者に近づける「口話」による教育がろう児のコミュニケーションを阻んでいると実感し、新たな教育の選択肢として、構造改革特区制度を活用して「日本手話と日本語での読み書きの“バイリンガル”教育」を行う学校法人「明晴学園」を、多くの方々の協力を得て仲間とともに開校させました。その実現までのプロセスと明晴学園の様子をお話しします。

卒業後の進路の選択肢は一般高校が考えられますが、現在、授業内容の情報保障制度はなく「遠隔パソコン文字通訳システム」を実際に導入しました。教師の声を複数の文字通訳者にマイクを通じて送り、連係入力することで生徒のスマートフォンに授業内容を正しく、早く、わかりやすい文字情報として表示させるものです。約 4300 時限の実績を積み制度化に向けた活動と状況をお話しします。

次男は明晴学園から都立高校に進み、野球部のレギュラーとして強豪校と戦い「聞こえなくても、できる」を証明し続けています。次男のフランスへの一人旅とろう者のコミュニケーションの力を描いた短編ドキュメント映画「17歳の夏」を上映し、手話で育った次男の様子を紹介します。

経歴

昭和56年 岐阜工業高等専門学校 電気工学科
(現：電気情報工学科) 卒業 14期生
平成26年 放送大学大学院 文化科学研究科
社会経営科学プログラム 修士(学術)

職歴

昭和56年 日本電信電話公社入社(現：株式会社NTTデータ)
平成20年 構造改革特区研究開発学校
私立学校法人明晴学園 開校 設立メンバー
平成26年 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
社会技術研究開発センター(RISTEX)
研究開発成果実装支援プログラム 平成26年度 採択
「聴覚障害高校生への遠隔パソコン文字通訳での授業支援」

お問い合わせ

岐阜工業高等専門学校同窓会



若鮎会 TEL
WAKAAYUKAI

058-323-8752

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2

WEBお申込み

<https://www.wakaayu.org/openlecture/>

岐阜高専 若鮎会

検索

公開講座 申込み書 (FAX用)

[FAX] 058-322-6571

フリガナ お申込者氏名	性別 ・男 ・女	・若鮎会員 (専攻科含む) ・一般 ・学生 ○で囲んで下さい			
フリガナ 企業団体名	所属・役職				
TEL	FAX	E-mail			
申し込み日 総申込み人数	<input type="checkbox"/> 10/28 () 名	<input type="checkbox"/> 11/18 () 名	<input type="checkbox"/> 1/13 () 名	<input type="checkbox"/> 2/24 () 名	<input type="checkbox"/> 3/24 () 名